

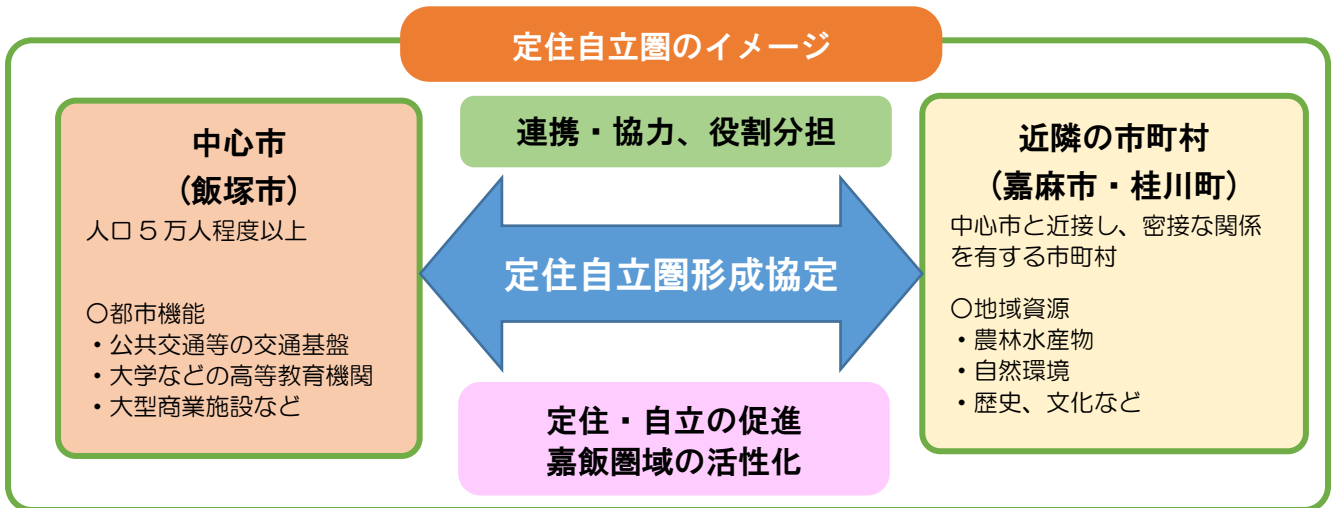
嘉飯圏域定住自立圏

～2市1町の連携による圏域の活性化をめざして～

飯塚市・嘉麻市・桂川町の2市1町による定住自立圏形成協定に基づく嘉飯圏域における連携事業が、平成30年10月1日からスタートします。来年度以降にスタートする事業もありますが、2市1町で取組んでいる定住自立圏のしくみと具体的な連携事業についてお知らせします。

1. 定住自立圏構想

定住自立圏構想とは、都市圏への人口流出を防ぎ、地方圏への人の流れを創出するために国が推進している施策です。人口5万人程度以上の要件を満たす「中心市」（飯塚市）が「近隣の市町村」（嘉麻市、桂川町）と協定を結び、「定住」に必要な生活機能を圏域で確保するため、役割分担し、連携することで圏域全体を活性化させることをめざすものです。



2. 定住自立圏共生ビジョン

(1) 定住自立圏共生ビジョンの目的

平成30年3月26日に飯塚市と嘉麻市、桂川町が1対1で締結した定住自立圏形成協定の内容を踏まえ、圏域としてめざすべき将来像とその実現に向けた具体的取組を示すものです。

(2) 定住自立圏共生ビジョンのめざす圏域の将来像

- ・地域の魅力を積極的に発信できる圏域
- ・地域の資源を有効活用し、住民の活力あふれる圏域
- ・様々な世代の住民が安心して暮らせる圏域
- ・各市町の人口ビジョン推計以上の人口となる圏域

以上の4つの将来像の実現に向けて、裏面に記載する21の連携事業を実施します。連携事業によって、圏域住民の利便性向上や地域の活性化を図り、各市町が掲げる人口ビジョン推計以上の人口となる圏域をめざします。



3. 連携事業の概要

準備が整ったものから順に、以下の事業において連携を行います。圏域にお住いの皆さんが受けられるサービスを増やすなど、圏域全体が活性化する取組みを実施していきます。

1 生活機能の強化

①夜間急患センターの広域運営【既存】	医療を担う「飯塚夜間急患センター」や「在宅当番医制度」、「病院群輪番制事業」といった分野での連携を図り、圏域の健全な医療体制を維持していきます。
②在宅当番医制度の維持・確保【既存】	
③病院群輪番制事業の広域運営【既存】	
④地域包括ケア推進センターの広域運営【既存】	「地域包括ケア推進センター」や「地域活動支援センター」、「障がい者基幹相談支援センター」等の介護や障がい等で支援を必要とする方たちを広域で支援する体制を維持していきます。
⑤地域活動支援センターの広域運営【既存】	
⑥障がい者基幹相談支援センターの広域運営【既存】	
⑦子育て支援センターの相互利用【新規】	「子育て支援センター」や「病児・病後児保育施設」の広域利用や「休日等子育て支援」等の事業で連携を図り、子育てを広域で支援する体制づくりを推進していきます。
⑧病児・病後児保育施設の広域運営【新規】	
⑨休日等子育て支援体制の構築【新規】	
⑩図書館の相互利用【新規】	相互利用等の連携により、利便性の向上を図ります。
⑪地場企業支援と雇用拡大の促進【既存】	雇用拡大や新しい産業の創出に向けた連携を強化し、圏域内の経済の活性化を図ります。
⑫産学官連携の促進【新規】	
⑬RDF 処理委託等の代替事業調査研究【新規】	圏域内のゴミ処理について研究を推進します。
⑭消費生活センターの広域運営【既存】	広域運営により相談体制等を維持していきます。

2 結びつきやネットワークの強化

⑮赤字路線バス運行補助【新規】	圏域内外の移動手段を確保するとともに、連携により地域公共交通の利便性を向上させ、圏域内での交流人口の増加を図ります。
⑯地域公共交通連携の推進【新規】	
⑰圏域外からの移住の促進【新規】	移住に関する施策を広域で連携することで地域の活性化を推進します。また、圏域で交流する人たちを増やすため、観光分野等での連携を推進します。
⑱地域資源を活かした圏域活性化の促進【既存】	
⑲戦略的な広域観光の振興【新規】	
⑳防災拠点等への公衆無線 LAN 環境整備の促進【新規】	圏域における防災力の向上を推進します。

3 圏域マネジメント能力の強化

㉑圏域市町職員等の交流及び人材育成の促進【新規】	職員等の研修によりマネジメント能力を強化します。
--------------------------	--------------------------